

【フリートーク:地球温暖化について考えよう (パート2)】

1月21日(日)に開催した環境ひろばでは、第19回国分寺市環境シンポジウムのテーマでもある、地球温暖化をテーマに行いました。当日は事務局から、今年度策定予定の「国分寺市ゼロカーボン行動計画(案)」の説明を受けた上で、意見を出し合いました。

○国分寺市ゼロカーボン行動計画(案)の構成

- 第1章 地球温暖化をめぐる国内外の動向
- 第2章 国分寺市の概況
- 第3章 計画の基本的事項
- 第4章 計画の目標
- 第5章 温室効果ガス排出規制等に関する施策の展開
- 第6章 計画の推進

第4章 計画の目標  
ゼロカーボンシティ実現に向けた脱炭素シナリオとロードマップ



計画の説明を受けて、当日は以下の意見等が提起されました。

- ・どの施策がどのくらい削減に寄与するのか、市民が分かると行動に移しやすい。
- ・意識変化のほかに、ハイブリットカーやEVの導入も考えられる。
- ・緑の保全について、住宅がどんどん増えてきていて、今後も世帯数が微増するという試算もある中で、このまま開発等が進むとみどり率は確実に減少していくと思う。
- ・これまでの延長線上の施策では達成できないと思う。市の普及促進や支援にしてもこれまでと違うこともしないと達成は望めない。
- ・住宅の断熱化についての記載があるが、目標値を設定してほしい。
- ・2030年までの削減目標が50%目標となっていることは素晴らしいと考えている。協力して頑張っていきたいと思う。
- ・雨水をもっと利用するというを具体的に出して行ってほしい。
- ・断熱材だけでなく、断熱窓についても考えていくべきだ。



鎮守の森が守られている西町の神明社

各個人の取組や太陽光発電、水素電池等の技術革新、また樹林地等の保全等が不可欠となります。環境ひろばに多くの方にご参加いただき、目標達成に向けて、議論を深めていきたいと思います。ぜひご参加ください。

## 【第19回国分寺市環境シンポジウムを開催しました】

令和6年2月18日（日）に、第19回国分寺市環境シンポジウムを開催しました。当日は、会場参加者88名、オンライン参加者20名と盛会の中、東京大学 未来ビジョン研究センター 教授、国立環境研究所 地球システム領域 上級首席研究員の江守 正多（えもり せいた）さんに「気候変動をどう受け止めるか」をテーマにご講演いただいたほか、江守さん、東京都立大学 都市環境学部 都市政策科学科 教授の奥 真美（おく まみ）さん、国分寺市副市長内藤 達也による、ディスカッションを行いました。



基調講演

江守さんの講演では、温暖化の仕組みや現状を、気候変動のシミュレーションを交えて、将来への影響がリアルに分かりやすく説明いただきました。また、私たちにできることとして、我慢して行う省エネではもはや気候変動対策としては相応しくなく、今後は気候政策を支持し、社会システムの変換を目指していくべき、という点は特に印象的でした。

またディスカッションでは、参加者からの質問も交えながら、主に行政の施策について意見を交わしました。

令和5年度末に策定を予定している「国分寺市ゼロカーボン行動計画（～オール国分寺で取り組む脱炭素社会～）」や、国分寺市の施策の紹介を行いつつ、江守さんと奥さんから市の現状の施策や今後進めていくべき方向性についてご意見をいただきました。

ご登壇いただいた先生方並びにご参加いただいた方々のお陰様で盛況に終わりましたこと、感謝申し上げます。（事務局）



ディスカッション

## 環境ひろばのお知らせ

4月21日（日）午前10時～正午 市役所 書庫棟会議室（戸倉1-6-1）

『環境ひろば』は、環境（保全、回復、創造）について市民・事業者・市が自由に意見交換を行う場です。皆様のご参加をお待ちしています。

（あしがき）

1月の環境ひろばでは、国分寺市ゼロカーボン行動計画について新たな参加者の活発な意見がありました。1月の平均気温は10℃を超え、対策の強化が不可欠と痛感します。災害が多発する現状、防災・防犯と共に環境面の安心安全まちづくりが大切ですね。（浅原）

国分寺市環境ひろば 事務局

国分寺市 まちづくり部 まちづくり計画課

〒185-0012

国分寺市本町4-1-9本町クリスタルビル4階

TEL：042-314-9005（直通）

FAX：042-323-9060

Eメール：machikeikaku@city.kokubunji.tokyo.jp